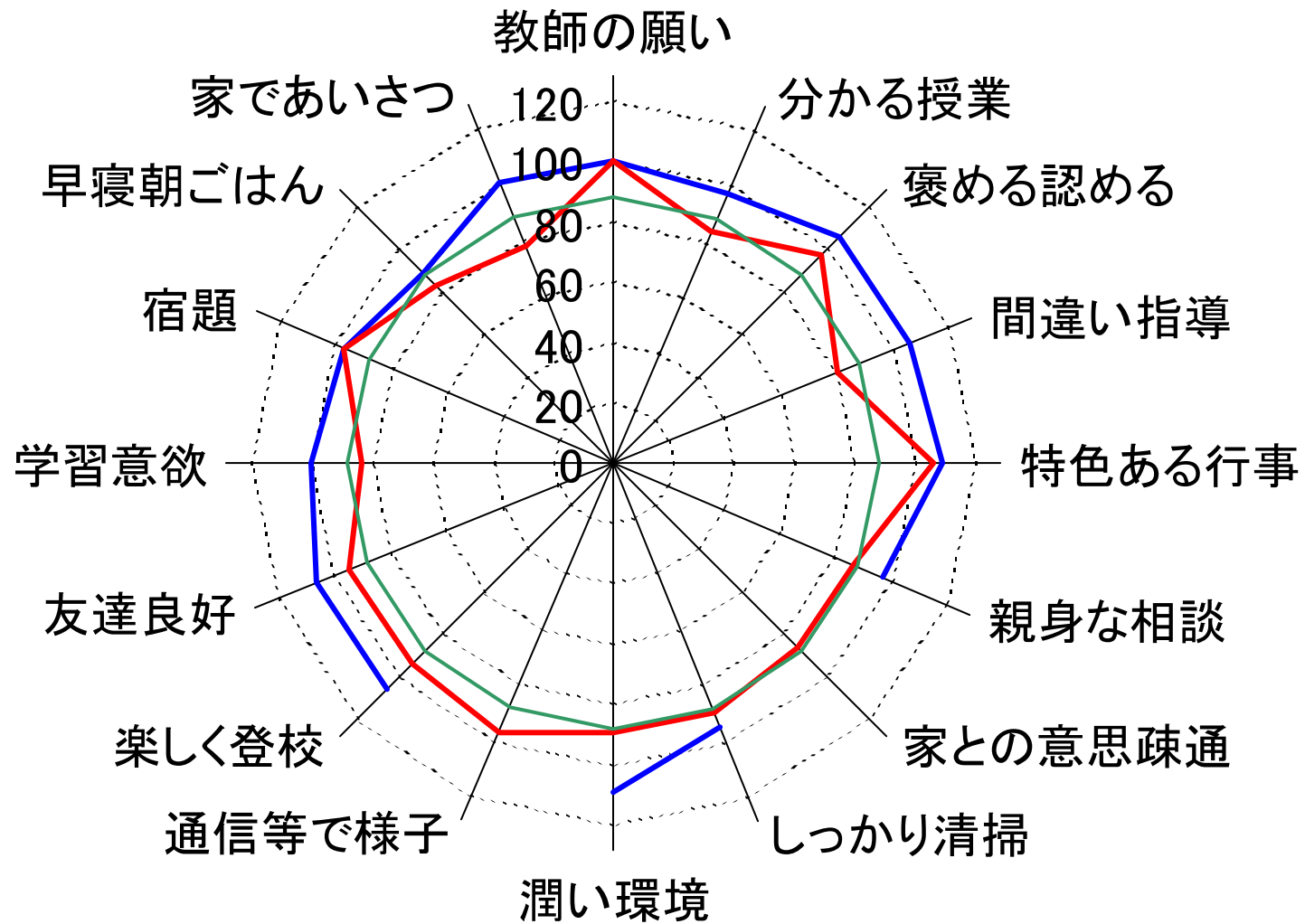


# 【平成21年度1学期末保護者アンケート 全校結果】

— 保護者 — 到達基準



## 「児童・保護者アンケート結果」より

# 考 察 と ま と め

国津小学校 平成21年9月5日

### 全体的に

年度始めの通信で重点目標の一つとして、達成目標数値を80%にしました。

「とても・よく」+「まあ・やや」でレベル80% (そのうち「とても・よく」が全体の25%以上)

とても・よく	まあ・やや	未回答	あまり	全く
25%				80%

これを基準としてみた場合、児童・保護者合計では、ほとんどの項目で目標数値を達成している状態であるといえます。しかし、両者を合計しても、「⑮子どもは、早寝・早起き朝ごはんを実行している」の項目と、「⑩家庭であいさつをよくする」の項目については、目標数値に達していませんでした。また16設問の平均では、昨年度末の92%から84.2%に下降しました。こうした理由を考えると、本校が課題としてきた「⑥教師は悩みや相談に親身に対応している」という項目や「⑦教師は、意思疎通を図るため、家庭への連絡をきめ細やかにしている」の設問項目の評価が、昨年と比べて13%、9%と低くなっていることが明らかになってきました。学習指導とともに、子どもたちの育ちを支援していく上で、子どもを真ん中にすえて保護者と教師がともに考え、協力関係をより強固なものにしていくという面の課題が浮き彫りにされています。今回のアンケート結果を真摯に受け止め、すべての項目に考察を加え、更に質の高い教育活動を進め、児童・保護者の満足度が、より高い学校を目指したいと思います。

さらに、少ないとはいえ、「あまり」「まったく」という回答もありました。また、全体では見えませんが、学級ごとに課題が見えています。このことを学校全体でしっかり受け止めて、全ての児童・保護者の方から「満足」という声をいただくことができるよう努力していきたいと思います。

### 課題として

#### 【保護者・児童アンケートで「どちらかあるいは両方」が達成基準を満たしていない項目】

16項目中9項目において、目標数値に達していませんでした。その項目をレベルの低い順に見ていくと、次のとおりです。

#### ●レベル69%保「⑩家庭であいさつをよくする。」

1学期、子どもたちとのかかわりの中で、こちらからの働きかけがあるとあいさつができるのですが、子どもたちの方から進んであいさつをするということが十分でないと思っています。学校では、なぜあいさつか、という部分を再度、子どもたちに指導するとともに「どこでもあいさつ」の運動を押し進めていきたいと思っています。各家庭でも、あいさつの実践の場として、ご協力をいただきたいと思います。

- **レベル71%保**「④教師は、子どもの間違った行動をきちんと指導している。」  
学校はいうまでもなく集団で生活を行っています。当然、友だち同士が学習や生活をしていく上でのルールがあります。教師集団での学習のルール、生活のルールの確認とともに、確認したことは誰もが同じように、子どもたちの指導にあたっていきたいと考えます。
- **レベル74%保**「②教師は、わかりやすい授業を工夫している。」  
学校での教師の役割の大部分が子どもたちへの学習の指導です。保護者のみなさんから見ていただくと、まだまだ十分には教師の専門性が活かされていない状況があることがわかりました。全体として子どもたちに何を、どんな方法で教えていくのか、そして子どもたちの身に付けさせていくのか、具体的な授業の場を通してさらに教師力をアップしていきたいと考えます。
- **レベル74%保**「⑬子どもは、意欲的に学習に取り組んでいる。」  
意欲についても、上の授業の工夫と関連があると考えます。子どもたちが意欲を持って学習に取り組んでいけるよう、「そうか、そうすればいいんや」という子どもたちの成功体験と「もっと調べてみたい、もっとくわしく知りたい」という意欲喚起につながる授業を具体的な場を通して考え、実践にしていきたいと思えます。
- **レベル74%保 レベル79%児**「⑮早寝・早起き・朝ごはんを守っている。」  
子どもたちが意識して「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけ、実践意欲を自ら高めようとする自己管理能力をつけていくことが課題だと感じています。そのために、なぜ早寝・早起き・朝ごはんなのか、そうすることのメリットは何なのかを子どもたちとともに考え、各家庭との連携・協力を図っていきたいと思えます。
- **レベル76%**「⑥教師は、悩みや相談に親身に対応している。」  
子どもたちの育ちは、一様ではありません。子どもたち、保護者のみなさんがその時々において、悩んでいること、相談したいことをしっかり受け止め、対応していきたいと考えています。そのため、日常からの子どもたち、保護者との関係を再度見つめなおしていきたいと考えます。いろんな場を通して、子どもたち、保護者のみなさんの声を受け止めていきたいと考えます。
- **レベル76%**「⑦教師は、意思疎通を図るために、家庭への連絡をきめ細やかに行っている。」  
上の問いと重なってくる部分がありますが、子どもたちのよい点、保護者との協力で改善していきたい点など、家庭への連絡帳、電話、家庭訪問などを通して、また、学校にお越しいただく場面で一緒に子どもを育てていくという観点で連携を深めていきたいと考えます。
- **レベル79%**「⑧学校は清掃が行き届き、いつもきれいである。」  
本年度の児童の反省に「高学年の子どもたちが低学年の子どもたちへの心配りができていた」というコメントがありました。個々の児童について見てみると、様々な課題はありますが、1学期の取り組みを通して、高学年とし

での自覚が芽生えていることは成果としてあげることができます。「時間いっぱい掃除をする」「道具の使い方、片付けを徹底する」「トイレの使い方を徹底する」という指導を行っていきたいと思います。

- **レベル79%** 「◎学校は、季節の花もあり、潤いのある環境である。」

学校では、春花壇と秋花壇の花の種（春…パンジー等、秋…サルビア、マリーゴールド等）を中日新聞社より提供を受けています。この種をもとに、播種、ポットの植え替え、定植等の作業を職員で行っています。今後も、それぞれの時期に、これらの花壇経営につとめていくとともに、校庭の除草等に取り組んでいきたいと考えます。

### 【達成基準は満たしているが、気になる項目】

- 「⑪子どもは、楽しく登校している」について、**89.7%**と基準には達成していますが、昨年度が96.9%だったことを考えると、大変、気になるところです。

また、全般的に昨年度に比してポイントが下がり気味である点についても気になるところです。私たち教職員の子どもに対する指導、かわりについて保護者のみなさんの現段階での「先生たち、もっと子どもをよく見てや」という思いの表れではないかと考えています。再度、基本に立ち返って、子どもたちの教育に当たっていきたいと思います。

## **2学期より職員が大切にすること**

### 【生き生き にこにこ 国津小職員】

#### **今まで以上に**

- ◎ 家庭とのきめ細かな連携を大切にします
  - ・ 進んで連絡 すばやい対応 を実行していきます。
- ◎ 聴いて、褒めて 子どもの納得を大切にします
  - ・ 子どもの思いをとことんまで聴くことに努めます。
  - ・ 思いっきり褒めることを中心に、メリハリのある指導を実践します。やさしさの中に厳しさを。

#### **アンケート課題から具体的な取り組み**

- ◎ 「早寝・早起き・朝ごはん」意欲付けの取り組み
  - ・ 実態に応じて内容・意義を子どもたちに確認します。
  - ・ ハンカチ（毎日）や給食着（金曜日）を予定帳の持ち物に書くことにします。3日間個々の様子を見、保護者の方と相談し、進めていきます。
- ◎ ドラえもん「どこでもあいさつー！」強化週間の取り組み
  - ・ 毎月第1週をあいさつ強化習慣として位置づけます。
  - ・ 昨年に引き続き、“ドラえもん「どこでもあいさつー！」”をキャッチフレーズにして、子どもたちに意識付けをします。ご家庭でも活用していただき、「どこでも」「誰とでも」あいさつができるよう習

慣づけていきます。

◎ 朝学習の充実 と 宿題100%の取り組み

- ・ 8:25～8:35 までの朝の学習を定着充実させます。自学の力向上を。  
月・金＝ドリル等 火・木＝読書 水＝全校集会
- ・ 宿題をすべての子どもにしっかり取り組ませる手立てを講じます。  
子どもへの言葉かけ 家族の協力 内容吟味 励まして意欲作り